

シラバス [総合的な学習の時間]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学		総合的な学習の時間	探究	1
教科書				

授業のねらい (年間指導目標)		
探究的な見方・考え方を働かせ、生活や地域に関わる課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようになるための資質や能力を育むことを目指す。		
授業の進め方 (年間指導計画)		
1 学期	グローバル (地域的な課題)	<p>探究活動の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然教室 (奥大山) や研修旅行 (沖縄) の事前学習を通して探究の手法を学ぶ。 ● 3 学年のグループを形成し、学年間の意思疎通を活性化する。 <p>芸術鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 舞台芸術鑑賞や音楽鑑賞を通して、豊かな感受性を育み、想像力や表現力を培う。 ● 文楽などの古典芸能に触れ、地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々の活動を理解する。 <p>防災教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地震や風水害などの自分や家族に起こりうるリスクを認識し、防災に対する意識を醸成する。 ● ハザードマップの確認や防災用品などの準備を通して、社会と地域の実態を把握し、備え方を学ぶ機会とする。
2 学期	グローバル (国際的な課題)	<p>環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の自然環境とそこに起きている環境問題について考察し、地域や社会との関わり方を認識する。 ● 身近な環境問題に主体的に取り組む中で、探究的な手法や課題に対する向き合い方を身に付ける。
3 学期		<p>平和学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 神戸が経験した戦争の記録から、平和を希求する意識を培う。 ● 解決困難な国際問題にも積極的に関わろうとするグローバル人材の育成を行う。 ● 研修旅行での学びを発表し、探究活動の成果を共有する。
評価方法		
探究活動での課題テーマに対する取り組みの様子、成果物や発表内容に基づいて評価する。活動の参加態度や異学年との交流など、「主体性・協働性」に留意する。		

備考
3 学年合同で取り組む。

シラバス [道徳・人権学習]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学	全コース	総合的な学習の時間	探究（人権福祉）	1
教科書・教材				
全国中学生人権作文コンテスト				

授業のねらい（年間指導目標）	
自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解し、その権利の行使に伴う責任を自覚して、人権を相互に尊重し合う友人関係の育成。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	道徳を通じて学んだ成果を示す。過去の人権作文を使用しての人権学習。人権作文作成のための調べ学習。
	人権作文作成、『神戸市中学生人権作文コンテスト』に応募。

学年	コース	教科	科目	単位数
高校	全コース	総合的な学習の時間	探究（人権福祉）	1
教科書・教材				
『私たちが拓く日本の未来』総務省・文部科学省				

授業のねらい（年間指導目標）	
自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解し、その権利の行使に伴う責任を自覚して、人権を相互に尊重し合う友人関係の育成。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 年生－	人権学習の導入。「人権」とは何か。ジェンダー問題などのテーマ別調べ学習、発表。
3 学期	主権者教育の導入。解決編を中心に基礎知識（有権者になること、選挙の意義等）を学ぶ。
2 年生－	人権学習の事例研究。「他国（フィリピン）の人権問題について」
3 学期	主権者教育の実践編。「模擬選挙」を通じて選挙の仕組みを学ぶ。
3 年生－	人権学習のまとめ。「A I と人権問題について」
3 学期	主権者教育の総まとめ。「若者の投票率を上げるための具体的施策」について考察する。

評価方法（中学・高校共通）
調べ学習の様子や発表内容、作成した作品により下記の力がついているかによって評価する。
1、他の人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどがわかるような想像力、共感的に理解する力
2、考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能
2、自分の要求を一方的に主張するのではなく建設的な手法により他の人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる能力やそのための技能